

CDPの「気候変動」の調査において、最高評価の「Aリスト」企業に選定

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役代表執行役社長：奥村 幹夫、以下「SOMPOホールディングス」）は、国際的な非営利団体であるCDPの2024年の「気候変動」の調査で最高評価の「Aリスト」企業に選定されました。今回の選定は、4年連続通算8回目となります。

1. CDPの概要

CDPは、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを運営する団体です。2000年の設立以来、資本市場と企業の購買力を活用することで、企業による環境影響の開示や温室効果ガスの削減、水資源や森林保護の取組みを先導する非営利団体です。

2024年は、全世界で24,800社を超える企業が調査に回答しており、日本ではプライム市場上場企業の70%以上を含む、2,100社以上がCDPを通じてデータを開示しています。

※詳細は同団体ホームページをご覧ください。<https://www.cdp.net/ja>

2. 「気候変動」の「Aリスト」企業への選定について

CDPは、気候変動に関する取組みと情報開示において、最も優れた企業を「Aリスト」として毎年選定しています。

3. SOMPOグループの気候変動への取組み

SOMPOグループでは、気候変動リスク・機会に対し複合的なアプローチを実践するため、「SOMPO気候アクション」（気候変動への「適応」、気候変動の「緩和」、「社会のトランスフォーメーションへの貢献」）を掲げ、グループ全体で取組みを進めてきました。保険引受・投融資を通じたエンゲージメントを強化し、ステークホルダーとともに、人と自然が調和した包摂的でレジリエントなカーボンニュートラル社会の実現を目指しています。

4. 今後について

SOMPOグループは、「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」という「SOMPOのパーパス」実現に向け、地域のステークホルダーとの連携を通じてグリーン社会への移行に貢献していきます。

- SOMPOホールディングス ウェブサイト（「SOMPO気候アクション」）

<https://www.sompo-hd.com/csr/materiality/topic1>

- SOMPOホールディングス ウェブサイト（「TCFD・TNFD 提言への対応」）

<https://www.sompo-hd.com/csr/materiality/topic2/>